

## 第15回青森ねぶた祭検討特別委員会会議概要

日 時 平成19年2月26日(月) 15時00分～16時40分

場 所 青森県商工会館 2F 会議室

出席委員 蝦名委員長、佐藤副委員長、對馬委員、若井委員、千葉委員、柳谷委員、奈良委員、澤田委員

事務局 市平田課長、協会櫻田専務、山田事務局長

欠席委員 武田委員、勝又委員、太田委員、采田委員

○委員長挨拶

○会議概要

①前回の議事概要について

事務局より前回の会議概要を説明し、内容を確認した。

②制作者の表彰について

「優秀制作者賞」を設け制作者に対する賞を増やすことは概ね賛同を得たが、ねぶた制作点数上位3位に複数台制作している制作者が重複した場合、重複受賞させるか、または次点の者を繰り上げるかの議論となった。

### 《ねぶたの制作順位3位に同じ制作者が重複した場合、次点の制作者を繰り上げる》

・現在3台制作している制作者が2名いるので最大で制作順位7位の制作者が繰り上がる。

「優秀制作者賞」は5位以内に入っていることを条件としてはどうか。

- ・1位「最優秀制作者賞」、2位「優秀制作者賞」、3位「制作者賞」としてはどうか。
- ・制作者の励みになるように、1人でも多くの制作者を讃えたい。
- ・5位で打ち切りというのは次点との点数差によっては難しいのではないか。(僅差でも打ち切るのか)
- ・1台しか制作していない制作者が多いので、繰り上げなければ不公平にならないか。
- ・繰り上げなのであれば、ねぶたの制作点数を公表し、理解されるよう広報するべき。
- ・5位打ち切りの場合のために「優秀制作者賞」2名以内とすれば良い。

### 《ねぶたの制作順位1位から3位で決定。制作者の繰り上げ受賞はなし》

- ・ねぶたの上手さで決まるのだから、制作点数順位1位～3位に与え、繰り上げすべきではない。
- ・繰り上げずに制作上位3人に与えた方が、それ以外の制作者の闘争心がおおられ励みになるのではないか。
- ・繰り上げは説明が難しい。ねぶた順番は説明しやすいし明白だ。
- ・同じ制作者であっても団体(ねぶた)ではライバルなので、ねぶたを中心に考えるべきだ。
- ・重複受賞が良い。奨励目的というならば5位で足切りというのはおかしい。

### 《共通事項・その他》

- ・制作者で話し合ってもまとまらないと思う。複数台制作している制作者は重複受賞を、1台制作している制作者は繰り上げを望む。
- ・「最優秀制作者賞」20万円、「優秀制作者賞」10万円くらいの賞金にして欲しい。
- ・今は予算が厳しい。賞金を増額するときは、一気に増額したい。
- ・お金欲しさにねぶた制作している制作者はいない。



- ①誰に対しての賞なのか明確にするため、団体の部と制作者の部を分ける。
- ②総合賞の盾を団体と制作者に授与しているが、総合賞は団体へ対する賞なので、団体だけに盾を授与する。
- ③ねぶた制作者に対する賞を増やす。「最優秀制作者賞」の他に「優秀制作者賞」を2つ設ける。
- ④ねぶたの制作点数順位1位の制作者に「最優秀制作者賞」、2位・3位の制作者に「優秀制作者賞」を授与する。
- ⑤1位から3位の中に同じ制作者が重複した場合は、制作者を奨励することから次点の制作者を繰り上げることとする。
- ⑥「優秀制作者賞」の繰り上げは5位以内とし、1名の場合もあるので「優秀制作者賞」は2名以内とする。

### ③市民観光客の受け入れ対応について

事務局案の新観覧席についてご意見を頂戴した。

- ・「道路管理者・警察は点字ブロックをあけて欲しい」「キャブがあるところは高くて高齢者には危険」「観覧者は栈敷席が窮屈」ということからの新提案である。
- ・今の国道維持出張所長は理解を示しているが、警察は混んでいる車道を使用するのは許可しない。
- ・新観覧席は歩道の点字ブロック周辺をあけることが出来るし、歩行者の歩くスペースも広く確保できる。
- ・運行サイドは国道に進入したときハネトを散らし、運行の遅れを取り戻していたつもりであったが、時間短縮となっていないのであれば、問題はない。
- ・実際国道を3車線全部使って運行している団体はない。
- ・事務局案ではイス席を連番性にして個人・団体席にし、栈敷席は奥行きを狭くして枱毎に販売しようと考えている。
- ・昔は市民も観覧席を購入していた。市民のねぶた離れが進んでいるのでもう一度見に来て頂く仕組みを作りたい。
- ・新観覧席方式は概算でイス16000人、栈敷席2190人、1日18000以上の人が収容できる予定である。
- ・栈敷は1人あたりのスペースが狭いというマイナスイメージがある。
- ・事前販売できない分を当日売りしている。当日売りは個人向けなのでイス席の方が適している。さらに空きスペース問題は残った席の分のイスを置かないことによって回避出来る。
- ・限られた歩道スペースの中に実行委員会の観覧席、事業所の席、出店、歩行者のスペースがあるので実行委員会の観覧席を車道に出したい。
- ・観覧場所確保のための歩道のガムテープ貼りに対して道路管理者と一緒に指導できないか。
- ・指導しているが、一周してくればまたガムテープを貼られており、イタチごっこの状態。
- ・交差点やフリースペースのガムテープ貼りはなくならないだろう。
- ・国道に観覧席を設けることによって、歩道に客を座らせていたビルの所有者とのトラブル

ルがないか。また歩道に直に座っていた自由観覧の人が見えなくなるという問題も生じるのではないか。

- ・いろいろ問題はあるが、フリースペースが増えるし、歩道が広がるので警察サイドへ働きかけやすいのではないか。
- ・フリースペースになる薄暗い本町の観覧者のマナーが気になる。
- ・フリースペースが増え地元の人がねぶたをきちんと見る事が出来るのは良い。
- ・交差点だけは人混みになっているが、新町も昔に比べると観覧者が少ない。
- ・新観覧席では観客がねぶたを身近で見れるし、団体も身近で見せる事が出来る。運行側も面白いし緊張感が出てくる。
- ・新観覧席に変更する際は理由をマスコミに対してリアルに伝えていくべき。
- ・警察は運行時間などすべてに関連する。まず警察署長の了解を得るのが必要なので、市長からお願いして頂くことも必要になるかもしれない。
- ・質の良いイスを変えることで効率が良くなると考えられる。今年は設置等の所要時間を検証していくことが必要だ。
- ・2010年新幹線開業なので、2009年には全体的に、2008年に一部でも試験的に実施したい。
- ・観覧席購入者に抽選で下絵や写真などプレゼントしてはどうか。



問題点はあるが方向性は良い。今後、事務方でシミュレーションしながら進めて行く。

#### ④祭の賑わいづくりについて

次回の会議で内容を協議することとなった。

#### ⑤次回委員会開催について

3月中は委員長・副委員長の日程があわないので、4月に開催することとなった。

以上